

## 探索加速型 第2次ステージゲート評価結果について

未来社会創造事業「世界一の安全・安心社会の実現」領域

重点公募テーマ：ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

本格研究候補課題：個人及びグループの属性に適応する群集制御

研究開発代表者：西成 活裕(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)

### 【結果】

第2次ステージゲート通過とする。

### 【総評】

評点

S: 評価基準を満たしており、特に優れたところが認められる

### 総合評価コメント

本研究開発課題は、群集、すなわち大勢の人が集まる状態そのものを「生命を脅かす重大な危機を招くリスク」と捉え、群集を構成する個人やグループの属性を考慮した行動予測と最適な情報提示から群集制御を行うことにより、「ひとりひとりが安全・安心、快適、効率的に移動できる社会」の実現を目指している。

これまで、センシング機器による人流計測、シミュレータによる行動予測、サイネージによる情報提示などの入出力情報を制御するプラットフォームのプロトタイプを当初計画に対して前倒して構築した。これにより実証試験を早期に実現して、10分先の群集行動を3分以内で予測可能であることを実証するとともに、様々なステークホルダーを巻き込んで実証フィールドの拡充に成功しており、POC 達成に向けて研究が順調に進展していると評価される。今後、視覚や聴覚への情報提示、警備員などによる誘導、ナッジ理論などを応用した新たな方法を生かした群集制御システムを構築することによって、安全・安心、快適、効率的に移動できる社会を実現できれば、大きな社会経済インパクトが期待される。研究成果であるプラットフォームを継承して持続的に運用していく体制の構築や、日常的なケースだけでなくリスクが高まるようなケースに対しても動的な群集制御に挑戦することにも留意して、さらに研究開発を推進していただきたい。

以上